

美郷町の財政状況をお知らせします

美郷家の家計簿

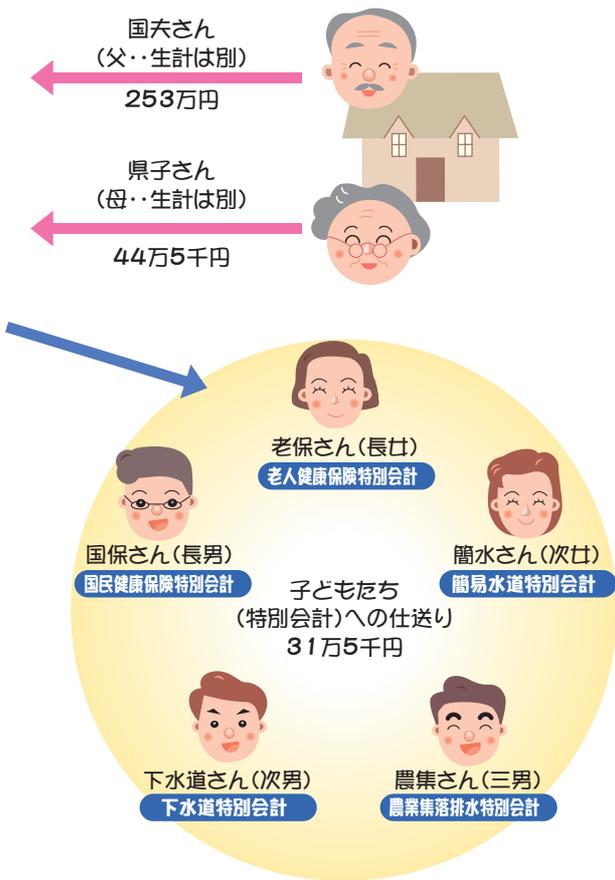
その2



先月号では、町の貯金(基金)や借金(町債)の残高を美郷家の家計に例えてお知らせしましたが、今月は年間の生活費の使い道(歳出)とその財源(歳入)の内訳を平成19年度の町の一般会計予算の比率で例えて解説してみます。

まずは収入です。表1を見ると、太郎さんと美子さんの年間給料の合計は68万9千円です。そして、太郎さんは父親からは25.3万円、母親からは44万5千円の援助を受けています。そして、新たに69万4千円の借金をしていま

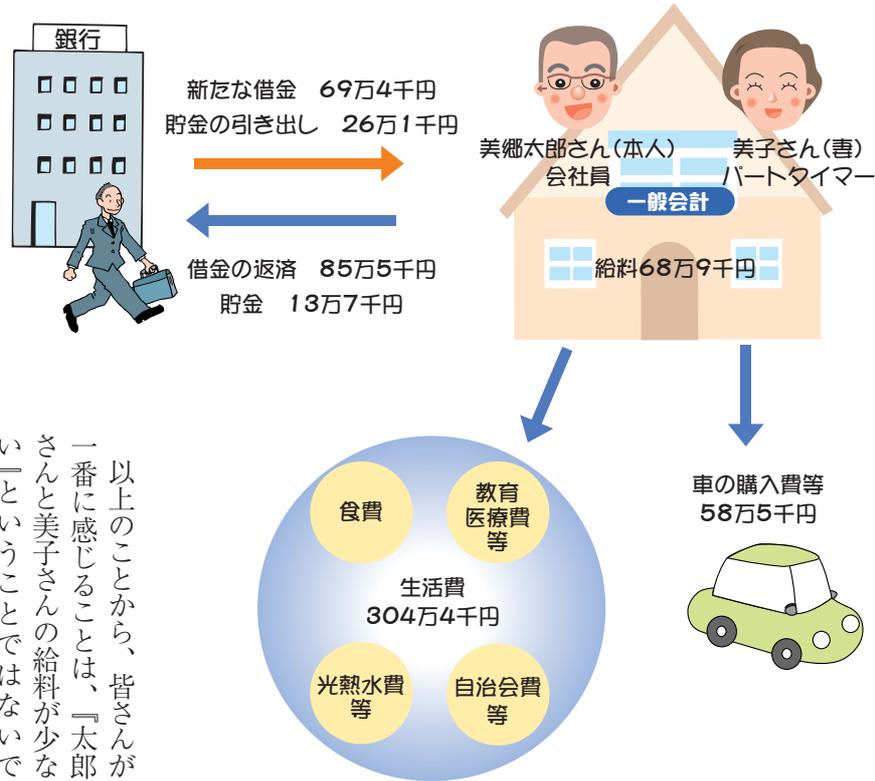
す。つまり、年間の生活費の60%近くを親からの援助に頼っている状況で、自分たちの給料は14%弱に過ぎません。そして、給料とほぼ同じくらいの借金をしていることになりま



収入の部(表1)

美郷家の収入	金額	歳入(町の収入予算)	予算額
給料(13.8%)	68万9千円	町税(13.8%)	15億1207万円
父(国夫)からの援助(50.6%)	253万円	地方譲与税(2.5%)	2億7500万円
		地方特例交付金(0.1%)	1080万1千円
		地方交付税(42.3%)	46億3760万2千円
		交通安全対策特別交付金(0%)	460万円
		国庫支出金(5.6%)	6億1919万4千円
母(県子)からの援助(8.9%)	44万5千円	利子割交付金(0.1%)	670万円
		配当割交付金(0%)	1千円
		株式等譲渡所得割交付金(0%)	1千円
		地方消費税交付金(1.7%)	1億9千万円
		自動車取得税交付金(0.8%)	8900万円
県支出金(6.3%)	6億9100万5千円		
貯金の引き出し(5.2%)	26万1千円	繰入金(5.2%)	5億7213万円
家賃収入等(4.9%)	24万4千円	分担金・負担金(0.6%)	6325万3千円
		使用料・手数料(1.3%)	1億4026万7千円
		財産収入(0.1%)	1337万6千円
		寄付金(0%)	1千円
		諸収入(2.9%)	3億1829万9千円
去年の給料の残りで使い道が決まっているお金(2.7%)	13万7千円	繰越金(2.7%)	3億円
銀行等からの新たな借金(13.9%)	69万4千円	町債(13.9%)	15億2170万円
合計	500万円	合計	109億6500万円

次に支出です。表2を見ると、生活費に全体の88%余りのお金が必要となっております。自家用車や大型家電品の買い替えなどに使えるお金は12%足らずとなり、給料や親からの援助が減ってくると、このお金は更に減らさなければなりません。また、生活費の中で全体の17%余りの85万5千円を借金の返済にあてています。



以上のことから、皆さんが一番に感じるのは、『太郎さんと美子さんの給料が少ない』ということではないでしょうか。「太郎さんも美子さんも、もっと頑張って働いて給料をもらったら？」と思うかも知れませんが、町に置き換えた場合は「もっと税金を上げたら？」ということになります。これは、安易に行えることではありません。また、太郎さんの両親からの援助は年々減っていく傾向にあります。三位一体の改革という言葉をニュースなどで聞いたことがあると思いますが、その影響が美郷家の家計にも大きく影響を与えています。

支出の部(表2)

美郷家の支出		金額	歳出(町の支出予算)		予算額
生活費(88.2%)	食費	105万5千円	義務的経費 (44.0%)	人件費	23億1458万5千円
	教育費・医療費等	29万1千円		扶助費	6億3868万5千円
	住宅ローンの返済	85万5千円		公債費	18億7479万円
	光熱水費等	89万2千円	その他経費 (44.2%)	物件費	19億5509万7千円
	自治会費等	80万6千円		補助費	17億6770万7千円
	貯金	13万7千円		積立金	3億2千円
	友人へ貸すお金	5万9千円		貸付金	1億2998万円
子どもたちへの仕送り	31万5千円	繰出金	6億9124万円		
大型生活必需品の購入や家の増改築費(11.7%)	車の購入費等	58万5千円	投資的経費 (11.7%)	普通建設事業費	12億8237万6千円
	自然災害による家屋修繕等	0円		災害復旧事業費	53万8千円
その他(0.1%)	予備費	5千円	その他(0.1%)	予備費	1千万円
合計		500万円	合計		109億6500万円

これまで紹介してきたとおり、美郷町の財政にはたくさん課題があります。今後の収入の見通しも決して明るいものではありません。しかし、今後も町民の皆さんに安心して生活していただけるように、ムダを抑えた効率的な財政運営を目指してまいります。

美郷町の誕生から2年半余りの年月が経過しました。限られた収入の中で上手にやりくりするためには、さまざまな工夫が必要です。現在、町では町内にある公共施設のあり方についての検討を行っています。公共施設は身近にたくさんあれば便利ですが、その施設を維持運営していくためにはそれに相当した経費が必要になるのが実情です。どの施設をどういう形で維持していくのが一番効率的であるかを見極めるのも大切な行政サービスの一つであると考えます。